

平成 2 2 年度当初予算案

主要事項説明資料

健康福祉部

主 要 事 項 説 明 資 料 目 次

ページ	事 業 名	担 当 課
1	ドメスティック・バイオレンス対策事業費	家 庭 支 援 課
2	子育てサポートセンター事業費	こ ども 未 来 課
3	次世代子育て応援パスポート推進事業費	こ ども 未 来 課
4	児童虐待総合対策事業費	こ ども 未 来 課 家 庭 支 援 課
5	京都子育て支援医療助成費	医 療 保 険 課
6	保育サービス充実・強化事業費	こ ども 未 来 課
7	子育てに優しい京都府づくり推進事業費	こ ども 未 来 課
8	安心保育推進事業費	こ ども 未 来 課 医 療
9	家庭支援充実強化対策費	家 庭 支 援 課
10	小児救急医療体制整備事業費	医 療 課
11	障害者自立支援特別対策費	障 害 者 支 援 課
12	障害者福祉サービス等利用支援事業費	障 害 者 支 援 課
13	障害児福祉サービス等利用支援事業費	障 害 者 支 援 課
14	障害者地域生活支援事業費	障 害 者 支 援 課
15	障害者自立支援医療特別対策費	障 害 者 支 援 課
16	重度障害児(者)在宅生活支援事業費	障 害 者 支 援 課
17	発達障害児早期発見・早期療育支援事業費	障 害 者 支 援 課
18	妊婦健康診査支援特別対策費	こ ども 未 来 課
19	子育て支援特別対策費	こ ども 未 来 課
20	「ゆめこうば」支援事業費	障 害 者 支 援 課
21	「府庁ゆめこうば」推進事業費	障 害 者 支 援 課
22	自殺対策総合推進事業費	障 害 者 支 援 課
23	「高齢者見守り隊」事業費	福 祉 ・ 援 護 課

主要事項説明資料目次

ページ	事業名	担当課
24	高齢者くらしのサポート事業費	福祉・援護課 高齢者支援課
25	福祉人材4,000人確保事業費	介護・福祉事業課 こども未来課
26	介護・福祉サービス人材確保プラン推進事業費	介護・福祉事業課
27	介護職員処遇改善緊急対策費	高齢者支援課 障害者支援課
28	介護・福祉人材キャリア形成事業費	介護・福祉事業課
29	療養病床あんしん確保緊急対策事業費	高齢者支援課
30	離職者向け住宅手当緊急支給事業費	福祉・援護課
31	離職者緊急一時宿泊事業費	福祉・援護課
32	母子家庭等緊急就職支援事業費	家庭支援課
33	入所児童緊急就職支援等事業費	家庭支援課
34	社会福祉施設防災対策等事業費	高齢者支援課 障害者支援課 家庭支援課
35	あんしん医療制度構築共同検討事業費	医療企画課
36	後期高齢者医療保険料増加抑制特別対策費	医療保険課
37	在宅重症難病患者療養支援事業費	健康対策課 こども未来課
	小児慢性特定疾患児家庭支援事業費	こども未来課
38	がん医療体制整備推進事業費	健康対策課
39	がん予防等戦略事業費	健康対策課
40	肝炎対策費	健康対策課
41	新型インフルエンザ対策事業費	健康対策課
42	救急医療提供体制整備促進事業費	医療課
43	総合医師確保対策費	医療課
44	救急勤務医・産科医等確保支援事業費	医療課
45	看護職確保定着対策事業費	医療課

主要事項説明資料目次

ページ	事業名	担当課
46	在宅医療連携体制整備推進事業費	医療課
47	ドクターヘリ共同運航事業費	医療課
48	医療施設耐震化推進事業費	医療課
49	京都府医師会館整備費補助金	医療課
50	きょうと「食の安心・安全」確保事業費	生活衛生課
51	京都式高校生あんしん修学支援制度	福祉・援護課

平成22年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部

事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業費		
予算額	12,500 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 目的 対象 方法等 </div>	1 趣 旨 配偶者暴力相談支援センター（DV相談支援センター）の機能を持つ家庭支援総合センターを中心に市町村や関係機関の連携、協力のもと被害者の相談、保護、自立支援等を実施する。 2 事業概要		
	区 分	内 容	所 管
	相 談 窓 口	▶ DV専用電話相談の実施	府民生活 健康福祉
		▶ DV相談支援センターを府南部・北部に設置 ▶ 夜間・休日相談の窓口設置 ▶ 婦人相談員の配置・研修（二次被害防止） ▶ 市町村相談員等に対する研修	健康福祉
	専門的指導の確保	▶ 心理療法士によるカウンセリング	健康福祉
	一 時 保 護 機 能	▶ 一時保護委託先の確保（母子生活支援施設等） ▶ 保育士の配置（同伴児対策） ▶ 民間シェルターと連携・協力した被害者支援	健康福祉
	被害者の自立支援	▶ 自立支援グループワークの実施	府民生活
		▶ 通訳の派遣（外国人被害者への対応） ▶ 診断書料の給付（保護命令申立て、就職時の健康診断等）	健康福祉
協 力 機 関 の 連 携 ・ 協 力	▶ 被害者支援ネットワーク（民間支援機関との連携、一時保護所退所先の確保・迅速な広域連携） ▶ 福祉施策の円滑な適用（生活保護等） ▶ DV相談支援センター機能の広報啓発	府民生活 健康福祉	
啓 発	▶ DV啓発カードの作成・設置 ▶ 啓発講座	府民生活	
担当課・係名	男女共同参画課 企画・推進担当 家庭支援課 家庭福祉担当	課・係 電話番号	075-414-4291 075-414-4582

平成22年度 当初予算案主要事項説明

文化環境部・健康福祉部

事業名	子育てサポートセンター事業費													
予算額	33,300千円	新規・継続の別	継続											
事業内容	<p>1 目的 保育所や幼稚園が、保育や幼児教育に関する専門性や実績を生かして、地域の子育て相談事業を実施することにより、地域に最も密着した子育て支援施設としての役割を果たすとともに、地域における子育て支援をより一層促進</p> <p>2 事業内容 保育所、私立幼稚園を活用した「子育てサポートセンター」の設置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 10%;"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">子育てサポートセンター事業</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">保 育 所</td> <td style="text-align: center;">幼 稚 園</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目 的</td> <td colspan="2">◎地域に密着した保育所、私立幼稚園の専門性等を生かした身近な相談体制等の整備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内 容</td> <td>◎隔週の土曜日(年24回)、専門性を有する保育士による地域住民を対象とした子育て相談</td> <td>◎親子関係支援センター事業 地域の保護者の育児の悩み等についての教育相談 ◎地域の子育て力向上事業 地域の団体や父親等と連携した保育の実施</td> </tr> </table>				子育てサポートセンター事業		保 育 所	幼 稚 園	目 的	◎地域に密着した保育所、私立幼稚園の専門性等を生かした身近な相談体制等の整備		内 容	◎隔週の土曜日(年24回)、専門性を有する保育士による地域住民を対象とした子育て相談	◎親子関係支援センター事業 地域の保護者の育児の悩み等についての教育相談 ◎地域の子育て力向上事業 地域の団体や父親等と連携した保育の実施
	子育てサポートセンター事業													
	保 育 所	幼 稚 園												
目 的	◎地域に密着した保育所、私立幼稚園の専門性等を生かした身近な相談体制等の整備													
内 容	◎隔週の土曜日(年24回)、専門性を有する保育士による地域住民を対象とした子育て相談	◎親子関係支援センター事業 地域の保護者の育児の悩み等についての教育相談 ◎地域の子育て力向上事業 地域の団体や父親等と連携した保育の実施												
担当課・係名	文教課 幼稚園・専修学校担当	課・係 電話番号	075-414-4817											
	こども未来課 企画担当		075-414-4591											

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	次世代子育て応援パスポート推進事業費		
予算額	12,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>社会全体で子育て家庭を応援するため、子育て支援に取り組む多様な主体が連携・協働し、府民満足度の高い「子育て応援パスポート」を普及</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) <u>協賛店舗の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な協賛店舗の拡大を目指し、子育て支援NPO・市町村等と連携した協賛企業・店舗の開拓 <p>(2) <u>子育て応援情報の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・府民目線の、利用しやすいパスポートを推進するため、ホームページ等における協賛店舗情報等を充実・強化 <p>(3) <u>関西圏拡大キャンペーンの実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街・子育て支援NPO等と連携し、地域イベント等の実施による携帯型パスポートの普及を促進 ・関西府県での相互利用開始に伴う、府県・協賛企業等と連携した利用促進のためのキャンペーンを実施 		
担当課・係名	こども未来課 子育て支援担当	課・係 電話番号	075-414-4727

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	児童虐待総合対策事業費														
予算額	55,850千円	新規・継続の別	継続												
事業内容 目的 対象 方法 等	<p>1 趣 旨 複雑・困難化する児童虐待に迅速かつ的確に対応するため、家庭支援総合センターを中心として、関係機関と連携を図り、未然防止、早期発見・早期対応、再発防止に至るまで、一貫した施策を総合的に推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童虐待予防対策推進事業費</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▶養育上課題のある家庭に対する心理カウンセラー、医師、保健師等による相談・支援 ▶府域全体を網羅する「児童虐待防止ネットワーク会議」の開催 ▶市町村の活動強化に向けて、虐待防止アドバイザーの派遣 </td> </tr> <tr> <td>児童虐待早期対応体制強化費</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▶児童相談所において初期対応等を行う児童虐待対応協力員の配置 ▶相談体制・協力体制強化のための児童相談所・市町村・関係機関等職員への研修 ▶外部アドバイザーの招へい（専門的助言や援助を行う弁護士） ▶児童相談業務に対応するITシステムの運営 </td> </tr> <tr> <td>家庭支援相談機能充実事業費</td> <td>▶地域の児童問題に対して相談援助を行う児童家庭支援センターの運営（休日、夜間対応可） <舞鶴学園・大和の家に付設></td> </tr> <tr> <td>「児童相談所業務外部評価委員会」運営費</td> <td>▶児童相談所の業務について外部の有識者により評価</td> </tr> <tr> <td>児童虐待再発防止・自立支援事業費</td> <td>▶虐待を行った保護者へのカウンセリングを行う精神科医の配置</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	事 業 内 容	児童虐待予防対策推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> ▶養育上課題のある家庭に対する心理カウンセラー、医師、保健師等による相談・支援 ▶府域全体を網羅する「児童虐待防止ネットワーク会議」の開催 ▶市町村の活動強化に向けて、虐待防止アドバイザーの派遣 	児童虐待早期対応体制強化費	<ul style="list-style-type: none"> ▶児童相談所において初期対応等を行う児童虐待対応協力員の配置 ▶相談体制・協力体制強化のための児童相談所・市町村・関係機関等職員への研修 ▶外部アドバイザーの招へい（専門的助言や援助を行う弁護士） ▶児童相談業務に対応するITシステムの運営 	家庭支援相談機能充実事業費	▶地域の児童問題に対して相談援助を行う児童家庭支援センターの運営（休日、夜間対応可） <舞鶴学園・大和の家に付設>	「児童相談所業務外部評価委員会」運営費	▶児童相談所の業務について外部の有識者により評価	児童虐待再発防止・自立支援事業費	▶虐待を行った保護者へのカウンセリングを行う精神科医の配置
	区 分	事 業 内 容													
児童虐待予防対策推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> ▶養育上課題のある家庭に対する心理カウンセラー、医師、保健師等による相談・支援 ▶府域全体を網羅する「児童虐待防止ネットワーク会議」の開催 ▶市町村の活動強化に向けて、虐待防止アドバイザーの派遣 														
児童虐待早期対応体制強化費	<ul style="list-style-type: none"> ▶児童相談所において初期対応等を行う児童虐待対応協力員の配置 ▶相談体制・協力体制強化のための児童相談所・市町村・関係機関等職員への研修 ▶外部アドバイザーの招へい（専門的助言や援助を行う弁護士） ▶児童相談業務に対応するITシステムの運営 														
家庭支援相談機能充実事業費	▶地域の児童問題に対して相談援助を行う児童家庭支援センターの運営（休日、夜間対応可） <舞鶴学園・大和の家に付設>														
「児童相談所業務外部評価委員会」運営費	▶児童相談所の業務について外部の有識者により評価														
児童虐待再発防止・自立支援事業費	▶虐待を行った保護者へのカウンセリングを行う精神科医の配置														
担当課・係名	こども未来課 子育て支援担当 家庭支援課 家庭福祉担当	課・係 電話番号	075-414-4727 075-414-4582												

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	京都子育て支援医療助成費																																
予算額	1,319,993千円	新規・継続の別	継続																														
事業内容 目的 対象 方法等	目的等	子育て世代の医療面における経済的負担及び精神的負担感の軽減を図り、子育て支援を行うため、市町村が実施する「京都子育て支援医療費助成事業」に対して助成																															
	制度	府独自制度																															
	対象者及び一部負担金(上限)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象年齢</th> <th colspan="6">就学前</th> <th rowspan="2">小学1～6年生</th> </tr> <tr> <th>0歳</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> <th>6歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td colspan="7">1医療機関200円/月</td> </tr> <tr> <td>通院</td> <td colspan="2">1医療機関200円/月</td> <td colspan="4">3,000円/月</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は「一部負担金額(上限)」</p> <p>※所得制限なし</p>		対象年齢	就学前						小学1～6年生	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	入院	1医療機関200円/月							通院	1医療機関200円/月		3,000円/月			
対象年齢	就学前						小学1～6年生																										
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		6歳																									
入院	1医療機関200円/月																																
通院	1医療機関200円/月		3,000円/月																														
担当課・係名	医療保険課 高齢者・福祉医療担当	課・係 電話番号	075-414-4576																														

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	保育サービス充実・強化事業費																													
予算額	1,668,929千円	新規・継続の別	継続																											
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨 市町村が実施する多様な保育サービス等に対する助成 2 事業概要 (単位：千円) <table border="1" data-bbox="387 752 1425 1865"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>助成対象事業</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所運営助成費</td> <td>民間保育所運営費</td> <td>1,369,316</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育事業費</td> <td>保育所等における病児・病後児に対応する保健師・看護師の配置</td> <td>72,523</td> </tr> <tr> <td>延長保育事業費^新</td> <td>民間保育所の延長保育に対応する保育士の配置</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>障害児保育事業費</td> <td>障害児保育を行う場合のスロープ等環境整備事業</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>乳児保育促進事業費</td> <td>乳児保育のための保育士の配置</td> <td>3,969</td> </tr> <tr> <td>特定保育事業費</td> <td>保護者のパートタイム就労時など、一定の日時の保育に対応する保育士の配置</td> <td>1,620</td> </tr> <tr> <td>休日保育事業費</td> <td>日曜・祝日等の保育のための保育士の配置</td> <td>3,126</td> </tr> <tr> <td>保育所地域活動事業</td> <td>保育所の分園推進・保育所体験特別事業</td> <td>15,375</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	助成対象事業	予算額	保育所運営助成費	民間保育所運営費	1,369,316	病児・病後児保育事業費	保育所等における病児・病後児に対応する保健師・看護師の配置	72,523	延長保育事業費 ^新	民間保育所の延長保育に対応する保育士の配置	200,000	障害児保育事業費	障害児保育を行う場合のスロープ等環境整備事業	3,000	乳児保育促進事業費	乳児保育のための保育士の配置	3,969	特定保育事業費	保護者のパートタイム就労時など、一定の日時の保育に対応する保育士の配置	1,620	休日保育事業費	日曜・祝日等の保育のための保育士の配置	3,126	保育所地域活動事業	保育所の分園推進・保育所体験特別事業	15,375
事業名	助成対象事業	予算額																												
保育所運営助成費	民間保育所運営費	1,369,316																												
病児・病後児保育事業費	保育所等における病児・病後児に対応する保健師・看護師の配置	72,523																												
延長保育事業費 ^新	民間保育所の延長保育に対応する保育士の配置	200,000																												
障害児保育事業費	障害児保育を行う場合のスロープ等環境整備事業	3,000																												
乳児保育促進事業費	乳児保育のための保育士の配置	3,969																												
特定保育事業費	保護者のパートタイム就労時など、一定の日時の保育に対応する保育士の配置	1,620																												
休日保育事業費	日曜・祝日等の保育のための保育士の配置	3,126																												
保育所地域活動事業	保育所の分園推進・保育所体験特別事業	15,375																												
担当課・係名	こども未来課 子育て支援担当	課・係 電話番号	075-414-4581																											

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	子育てに優しい京都府づくり推進事業費		
予算額	30,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>子育て支援NPO等と連携・協働しながら、育児に対する不安感・負担感を軽減・解消するため、ソフト・ハードの両面から子育てに優しい街づくりを推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) <u>情報発信事業 (5,000千円)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO等との協働による携帯電話を活用した子育て支援情報の配信 〈実施主体〉 京都府、NPO等 〈配信内容〉 子育て施設情報、イベント情報、育児相談情報等 <p>(2) <u>ネットワーク事業 (13,000千円)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て家庭の育児負担軽減やリフレッシュを図る交流会を通じ、府内各地の子育てネットワーク（絆）を充実 〈実施主体〉 市町村、NPO等 〈参加者〉 子育て家庭、子育てNPO、子育て応援パスポート協賛企業、行政機関等 <p>(3) <u>施設整備事業 (12,000千円)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て家庭が利用する公共施設等に育児支援設備を整備 〈実施主体〉 市町村 〈対象施設〉 市町村庁舎、保健センター、公民館、図書館等 〈対象設備〉 乳児用ベッド（おむつ交換台）、ベビーシート等 		
担当課・係名	こども未来課 子育て支援担当	課・係 電話番号	075-414-4581

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	安心保育推進事業費																			
予算額	54,337千円	新規・継続の別	新規																	
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 社会福祉施設等における事業所内保育施設の整備及び運営経費に助成することにより、福祉人材の確保・定着とワークライフバランスの両立を支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 医療機関 府立与謝の海病院に医療従事者が共同利用できる院内保育所(定員10名)を整備</p> <p>(2) 社会福祉施設</p> <table border="1" data-bbox="395 981 1473 1653"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>小規模社会福祉施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">① 施設 整備 助成</td> <td>補助対象</td> <td>設置費(新築・増改築・改修)、保育遊具等購入費</td> </tr> <tr> <td>補助要件</td> <td>・認可外保育指導基準(厚生労働省)に準じる ・定員が3～9名の施設</td> </tr> <tr> <td>基準額等</td> <td>・基準額 1,500万円 ・補助率 1/2(乳児の受入等については別途嵩上げ措置)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">② 運 営 費 助 成</td> <td>補助項目</td> <td>運営費(人件費)</td> </tr> <tr> <td>補助対象</td> <td>・上記施設整備助成の対象施設の運営費を開所日数に応じて助成 ・開所後3年間</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) その他 国の事業所内保育施設設置補助金交付施設に対する府独自の加算制度 ・基準額 事業所内保育施設設置助成金の補助基準額(2,300万円) ・補助率 1/4(中小企業1/6)</p>			区 分		小規模社会福祉施設	① 施設 整備 助成	補助対象	設置費(新築・増改築・改修)、保育遊具等購入費	補助要件	・認可外保育指導基準(厚生労働省)に準じる ・定員が3～9名の施設	基準額等	・基準額 1,500万円 ・補助率 1/2(乳児の受入等については別途嵩上げ措置)	② 運 営 費 助 成	補助項目	運営費(人件費)	補助対象	・上記施設整備助成の対象施設の運営費を開所日数に応じて助成 ・開所後3年間	補助率	1/2
区 分		小規模社会福祉施設																		
① 施設 整備 助成	補助対象	設置費(新築・増改築・改修)、保育遊具等購入費																		
	補助要件	・認可外保育指導基準(厚生労働省)に準じる ・定員が3～9名の施設																		
	基準額等	・基準額 1,500万円 ・補助率 1/2(乳児の受入等については別途嵩上げ措置)																		
② 運 営 費 助 成	補助項目	運営費(人件費)																		
	補助対象	・上記施設整備助成の対象施設の運営費を開所日数に応じて助成 ・開所後3年間																		
	補助率	1/2																		
担当課・係名	こども未来課 子育て支援担当 医療課 府立病院担当	課・係 電話番号	075-414-4581 075-414-4750																	

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	家庭支援充実強化対策費		
予算額	46,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>児童虐待やDV、障害、非行、ひきこもりなど、複雑・多様化する家庭問題に迅速・的確に対応するため、家庭支援総合センターを中心に関係機関の連携・協力のもと、家庭問題に対する総合的・専門的な相談支援を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>◎ 総合相談機能の新設 (16,000千円) 総合相談窓口の設置により、幅広い家庭問題へワンストップでの対応と専門的なサポートを実施</p> <p>◎ 企画調整機能の充実強化 (30,000千円) 福祉の中核機関として、2つのチームを設置するとともに、相談者と関係機関等の橋渡し役を担うコーディネーターを配置</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆ 家庭支援サポートチームの設置 複雑・多様化する家庭問題に対応するため、弁護士や医師、臨床心理士等からなる専門家チームを編成し、困難案件等の対応をサポート</p> <p>◆ 家庭復帰・自立支援チームの設置 保護児童の円滑な家庭復帰を目指し、保護者・施設担当によるグループカウンセリングの実施</p> <p>◆ コーディネーターの配置 相談者と関係機関、関係機関同士との連絡・調整を行うコーディネーターを配置</p> </div>		
担当課・係名	家庭支援課 家庭福祉担当	課・係・電話番号	075-414-4582

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	小児救急医療体制整備事業費				
予算額	88,054千円	新規・継続の別	継続		
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨</p> <p>① 小児救急医療電話相談事業 子どもの急な発熱やけが等に対する親の不安を解消するとともに、小児救急医療提供体制の改善を図るため、小児担当看護師等による電話相談を実施</p> <p>② 小児救急医療体制強化支援事業 2次医療圏ごとに平日夜間や休日の小児診療体制を充実・強化する取組に対して支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>① 小児救急医療電話相談事業</p> <table border="1" data-bbox="427 1189 1377 1357"> <tr> <td>事業内容</td> <td> <input type="checkbox"/>相談時間 午後7時～午後11時（準夜帯） （土曜日は午後3時～午後11時） <input type="checkbox"/>実施方法 #8000番から当番病院の固定電話に転送 </td> </tr> </table> <p>② 小児救急医療体制強化支援事業</p> <p>▷ 2次医療圏単位で輪番制等により平日夜間・休日の当直体制（オンコール体制含む）を整備する場合に医師等の配置に要する経費に対して補助</p> <p>※ 実施医療圏 丹後、中丹、南丹、山城北、山城南</p> <p>▷ 地域の実情を踏まえ、内科医等との連携を図り体制を確保</p> <p>▷ 京都市が行う休日急病診療所における小児科診療の運営費に対して補助</p>			事業内容	<input type="checkbox"/> 相談時間 午後7時～午後11時（準夜帯） （土曜日は午後3時～午後11時） <input type="checkbox"/> 実施方法 #8000番から当番病院の固定電話に転送
事業内容	<input type="checkbox"/> 相談時間 午後7時～午後11時（準夜帯） （土曜日は午後3時～午後11時） <input type="checkbox"/> 実施方法 #8000番から当番病院の固定電話に転送				
担当課・係名	医療課 地域医療担当	課・係直通電話番号	075-414-4744		

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	障害者自立支援特別対策費														
予算額	650,000千円	新規・継続の別	継続												
事業内容 (目的対象方法等)	1 趣 旨 障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援するため、緊急的かつ臨時的な事業を実施する。														
	2 事業概要 (単位:千円)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基盤整備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・新体系移行に伴う既存施設の改修工事費等に対する助成 ・グループホーム・ケアホーム開設時の改修工事費やアパート等の借上げ経費に対する助成 ・施設入所者がグループホーム等に入居する際に必要となる、生活用品等の購入に対する助成 ・地上デジタル放送対応の聴覚障害者用情報受信装置の購入費に対する助成 など </td> <td>89,000</td> </tr> <tr> <td>施設運営</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬の日払い方式導入に伴う収入減に対し、従前の収入額の9割まで保障 ・9割保障が適用されない新体系に移行した事業者に従前の収入額を保障 ・施設利用促進のための送迎サービス費用に対する助成 ・施設入所者が安心して地域生活へ移行できるよう、退所後も施設職員が継続して支援を実施する場合に助成 ・新体系移行に伴うコストの増加に対する助成 など </td> <td>534,235</td> </tr> <tr> <td>普及啓発・その他</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・制度改正に伴い市町村が実施する支払システムの改修や広報啓発等に要する経費に対する助成 ・市町村が実施する相談支援の充実・強化を図る事業に対する助成 ・地域自立支援協議会の機能強化を図る事業に対する助成 など </td> <td>26,765</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	予算額	基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・新体系移行に伴う既存施設の改修工事費等に対する助成 ・グループホーム・ケアホーム開設時の改修工事費やアパート等の借上げ経費に対する助成 ・施設入所者がグループホーム等に入居する際に必要となる、生活用品等の購入に対する助成 ・地上デジタル放送対応の聴覚障害者用情報受信装置の購入費に対する助成 など 	89,000	施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬の日払い方式導入に伴う収入減に対し、従前の収入額の9割まで保障 ・9割保障が適用されない新体系に移行した事業者に従前の収入額を保障 ・施設利用促進のための送迎サービス費用に対する助成 ・施設入所者が安心して地域生活へ移行できるよう、退所後も施設職員が継続して支援を実施する場合に助成 ・新体系移行に伴うコストの増加に対する助成 など 	534,235	普及啓発・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正に伴い市町村が実施する支払システムの改修や広報啓発等に要する経費に対する助成 ・市町村が実施する相談支援の充実・強化を図る事業に対する助成 ・地域自立支援協議会の機能強化を図る事業に対する助成 など 	26,765		
	区分	事業内容	予算額												
基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・新体系移行に伴う既存施設の改修工事費等に対する助成 ・グループホーム・ケアホーム開設時の改修工事費やアパート等の借上げ経費に対する助成 ・施設入所者がグループホーム等に入居する際に必要となる、生活用品等の購入に対する助成 ・地上デジタル放送対応の聴覚障害者用情報受信装置の購入費に対する助成 など 	89,000													
施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬の日払い方式導入に伴う収入減に対し、従前の収入額の9割まで保障 ・9割保障が適用されない新体系に移行した事業者に従前の収入額を保障 ・施設利用促進のための送迎サービス費用に対する助成 ・施設入所者が安心して地域生活へ移行できるよう、退所後も施設職員が継続して支援を実施する場合に助成 ・新体系移行に伴うコストの増加に対する助成 など 	534,235													
普及啓発・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正に伴い市町村が実施する支払システムの改修や広報啓発等に要する経費に対する助成 ・市町村が実施する相談支援の充実・強化を図る事業に対する助成 ・地域自立支援協議会の機能強化を図る事業に対する助成 など 	26,765													
障害者支援課 // // // //	企画担当 計画・地域支援担当 認定・精神担当 福祉サービス担当 社会参加担当	課・係 電話番号	075-414-4611 075-414-4598 075-414-4732 075-414-4596 075-414-4603												

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	障害者福祉サービス等利用支援事業費																
予算額	165,815千円	新規・継続の別	継続														
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣 旨 障害者の在宅福祉サービス利用等における自己負担額の増加等に対し、国制度を補完するため、府独自の支援策を実施 2 事業概要 (単位:千円)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>予算額</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援医療</td> <td>156,010</td> <td>・負担上限額を国基準の1/2 ・国制度にない所得階層を設定</td> </tr> <tr> <td>補装具給付</td> <td>4,961</td> <td>・市町村民税課税世帯について、一定の所得階層以下について、負担上限額を国基準の1/2</td> </tr> <tr> <td>総合上限制度</td> <td>1,253</td> <td>在宅福祉サービス、自立支援医療、補装具給付を重複利用する場合の負担上限額を設定</td> </tr> <tr> <td>施設入所の知的障害児(者)の医療費</td> <td>3,591</td> <td>3割負担を1割負担とする</td> </tr> </tbody> </table>			事業区分	予算額	事業概要	自立支援医療	156,010	・負担上限額を国基準の1/2 ・国制度にない所得階層を設定	補装具給付	4,961	・市町村民税課税世帯について、一定の所得階層以下について、負担上限額を国基準の1/2	総合上限制度	1,253	在宅福祉サービス、自立支援医療、補装具給付を重複利用する場合の負担上限額を設定	施設入所の知的障害児(者)の医療費	3,591
事業区分	予算額	事業概要															
自立支援医療	156,010	・負担上限額を国基準の1/2 ・国制度にない所得階層を設定															
補装具給付	4,961	・市町村民税課税世帯について、一定の所得階層以下について、負担上限額を国基準の1/2															
総合上限制度	1,253	在宅福祉サービス、自立支援医療、補装具給付を重複利用する場合の負担上限額を設定															
施設入所の知的障害児(者)の医療費	3,591	3割負担を1割負担とする															
	3 負担割合 府1/2、市町村1/2																
担当課・係名	障害者支援課 福祉サービス担当	課・係 電話番号	075-414-4600														

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	障害児福祉サービス等利用支援事業費																																						
予算額	3,165千円	新規・継続の別	継続																																				
事業内容 〔目的対象方法等〕	1 趣旨 障害児施設利用に係る保護者の急激な負担増に対し、子育て支援・激変緩和の観点から、府独自軽減策を実施																																						
	2 事業概要 ◇ 利用者負担額＜例＞ 食費等実費負担含む (単位：円/月) <table border="1" data-bbox="470 913 1356 1787"> <thead> <tr> <th colspan="3">階層区分</th> <th>府</th> <th>国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">通所施設</td> <td rowspan="2">市町村民税非課税世帯</td> <td>母子家庭等</td> <td>0</td> <td>1,540</td> </tr> <tr> <td>低所得2 (障害年金1級等)</td> <td>1,540</td> <td>1,540</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">市町村民税課税世帯</td> <td>一般 (均等割のみ)</td> <td>2,040</td> <td rowspan="3">9,660</td> </tr> <tr> <td>(8~16万円未満)</td> <td>9,060</td> </tr> <tr> <td>(16~23.5万円未満)</td> <td>9,660</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入所施設</td> <td rowspan="2">市町村民税非課税世帯</td> <td>母子家庭等</td> <td>0</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>低所得2 (障害年金1級等)</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">市町村民税課税世帯</td> <td>一般 (均等割のみ)</td> <td>2,000</td> <td rowspan="3">10,300</td> </tr> <tr> <td>(8~16万円未満)</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>(16~23.5万円未満)</td> <td>10,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 通所施設については、月22日利用の場合 ※ 生活保護世帯については、負担0円 ※ 市町村民税非課税世帯は、平成22年度からサービス利用に係る利用者負担はなくなるが、食費等実費負担は従前どおり</p>			階層区分			府	国	通所施設	市町村民税非課税世帯	母子家庭等	0	1,540	低所得2 (障害年金1級等)	1,540	1,540	市町村民税課税世帯	一般 (均等割のみ)	2,040	9,660	(8~16万円未満)	9,060	(16~23.5万円未満)	9,660	入所施設	市町村民税非課税世帯	母子家庭等	0	1,000	低所得2 (障害年金1級等)	1,000	1,000	市町村民税課税世帯	一般 (均等割のみ)	2,000	10,300	(8~16万円未満)	9,000	(16~23.5万円未満)
階層区分			府	国																																			
通所施設	市町村民税非課税世帯	母子家庭等	0	1,540																																			
		低所得2 (障害年金1級等)	1,540	1,540																																			
	市町村民税課税世帯	一般 (均等割のみ)	2,040	9,660																																			
		(8~16万円未満)	9,060																																				
		(16~23.5万円未満)	9,660																																				
	入所施設	市町村民税非課税世帯	母子家庭等	0	1,000																																		
低所得2 (障害年金1級等)			1,000	1,000																																			
市町村民税課税世帯		一般 (均等割のみ)	2,000	10,300																																			
		(8~16万円未満)	9,000																																				
		(16~23.5万円未満)	10,300																																				
担当課・係名	障害者支援課 福祉サービス担当	課・係 電話番号	075-414-4600																																				

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	障害者地域生活支援事業費		
予算額	799,914千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣 旨 障害者の地域生活に対する支援策を実施		
	2 事業内容 (単位:千円)		
	内 容		予算額
	● 発達障害者支援事業費		45,100
	発達障害者に対する支援・相談を実施 ・発達障害者支援センター「はばたき」(京田辺市) ・圏域支援センター(6箇所)		
● 高次脳機能障害者支援事業費		4,400	
府リハビリテーション支援センターにコーディネーターを配置し、相談(電話・面談)、研修、情報提供及び啓発等を実施			
● 市町村地域生活支援事業費		589,947	
市町村が実施する相談支援、コミュニケーション支援、日常生活用具給付事業等に対する補助			
● その他の事業		160,467	
IT活用障害者就労支援事業費、中途失明者指導訓練事業費、盲ろう者通訳介助員派遣事業費等			
担当課・係名	障害者支援課 企画担当 " 計画・地域支援担当 " 認定・精神担当 " 福祉サービス担当 " 社会参加担当	課・係電話番号	075-414-4611 075-414-4598 075-414-4732 075-414-4596 075-414-4603

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	障害者自立支援医療特別対策費																	
予算額	19,500千円	新規・継続の別	継続															
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣 旨																	
	障害に伴う身体機能の低下を補うために、生命維持に大きく関わる医療を継続的に受けている身体障害者に対し、医療費を助成 (障害者福祉サービス等利用支援事業の自立支援医療(更生医療)に追加)																	
	2 対象者及び対象医療																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対 象 者</th> <th>対 象 医 療</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呼吸器の機能障害で身体障害者手帳3級所持者</td> <td>在宅酸素療法</td> </tr> <tr> <td>ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級所持者</td> <td>ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びストマ(人工肛門、人工ぼうこう)周辺の感染防止等の治療</td> </tr> </tbody> </table>			対 象 者	対 象 医 療	呼吸器の機能障害で身体障害者手帳3級所持者	在宅酸素療法	ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級所持者	ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びストマ(人工肛門、人工ぼうこう)周辺の感染防止等の治療									
	対 象 者	対 象 医 療																
呼吸器の機能障害で身体障害者手帳3級所持者	在宅酸素療法																	
ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級所持者	ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びストマ(人工肛門、人工ぼうこう)周辺の感染防止等の治療																	
3 補助対象経費																		
医療保険適用における本人負担額3割(高齢者1割)																		
4 利用者負担																		
障害者福祉サービス等利用支援事業(自立支援医療)の負担どおり																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">所 得 階 層</th> <th>負 担 上 限 月 額 (重度かつ継続の区分を適用)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市町村民 税非課税</td> <td>障害基礎年金2級相当</td> <td rowspan="2">1,250円</td> </tr> <tr> <td>障害基礎年金1級のみ</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">市町村民 税課税</td> <td>所得割 3万3千円未満</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>所得割 3万3千円以上 23万5千円未満</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>所得割 23万5千円以上</td> <td>20,000円</td> </tr> </tbody> </table>			所 得 階 層		負 担 上 限 月 額 (重度かつ継続の区分を適用)	市町村民 税非課税	障害基礎年金2級相当	1,250円	障害基礎年金1級のみ	上記以外	2,500円	市町村民 税課税	所得割 3万3千円未満	2,500円	所得割 3万3千円以上 23万5千円未満	5,000円	所得割 23万5千円以上	20,000円
所 得 階 層		負 担 上 限 月 額 (重度かつ継続の区分を適用)																
市町村民 税非課税	障害基礎年金2級相当	1,250円																
	障害基礎年金1級のみ																	
	上記以外	2,500円																
市町村民 税課税	所得割 3万3千円未満	2,500円																
	所得割 3万3千円以上 23万5千円未満	5,000円																
	所得割 23万5千円以上	20,000円																
5 実施主体 市町村																		
6 負担割合 府1/2、市町村1/2																		
担当課・係名	障害者支援課福祉サービス担当	課・係 電話番号	075-414-4596															

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	重度障害児（者）在宅生活支援事業費												
予算額	15,000千円	新規・継続の別	新見										
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>医療的ケアが必要な重度心身障害児（者）に対するサービス提供体制を充実し、当事者や家族の負担を軽減する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 医療的ケア…人工呼吸器や気管切開による痰吸引、経管栄養（胃ろう等）、導尿等の医療行為 </div> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="405 1214 1460 1630"> <tr> <td>事業内容</td> <td>看護師の配置等により、医療的ケアの必要な重度障害者等の受入を推進する生活介護事業所等に対し助成を実施</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>市 町 村</td> </tr> <tr> <td>補助対象事業</td> <td>看護師加配経費、設備整備費等</td> </tr> <tr> <td>補助対象施設</td> <td>生活介護事業所等（10箇所程度）</td> </tr> <tr> <td>負担割合</td> <td>府1/2 市町村1/2</td> </tr> </table>			事業内容	看護師の配置等により、医療的ケアの必要な重度障害者等の受入を推進する生活介護事業所等に対し助成を実施	事業主体	市 町 村	補助対象事業	看護師加配経費、設備整備費等	補助対象施設	生活介護事業所等（10箇所程度）	負担割合	府1/2 市町村1/2
事業内容	看護師の配置等により、医療的ケアの必要な重度障害者等の受入を推進する生活介護事業所等に対し助成を実施												
事業主体	市 町 村												
補助対象事業	看護師加配経費、設備整備費等												
補助対象施設	生活介護事業所等（10箇所程度）												
負担割合	府1/2 市町村1/2												
担当課・係名	障害者支援課 福祉サービス担当	課・係 電話番号	075-414-4596										

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	発達障害児早期発見・早期療育支援事業費																
予算額	22,710千円	新規・継続の別	継続（拡充）														
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>発達障害児の早期発見・早期療育を行うため、市町村等と共同して保育所・幼稚園における5歳児を対象にしたスクリーニングや事後支援等を実施</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 専門的・広域的事業 5,000千円</p> <table border="1" data-bbox="453 1048 1394 1256"> <tr> <td>技術指導</td> <td>市町村事業の進め方、人員配置等の指導</td> </tr> <tr> <td>発達クリニック</td> <td>医療面からの専門的チェック・相談</td> </tr> <tr> <td>研修・啓発</td> <td>保育士・幼稚園教諭等に対する研修 府民に対する啓発</td> </tr> </table> <p>(2) 市町村に対する支援【拡充】 17,710千円</p> <table border="1" data-bbox="443 1384 1385 1641"> <tr> <td>補助対象事業</td> <td>保育所・幼稚園におけるスクリーニング、相談、事後支援事業</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>医師・臨床心理士の謝金・旅費</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2</td> </tr> <tr> <td>実施予定市町村</td> <td>20年度:13市町村→21年度:18市町村→22年度:25市町村</td> </tr> </table> <p>○ 事業実施期間 3年間（㉑～㉓）</p>			技術指導	市町村事業の進め方、人員配置等の指導	発達クリニック	医療面からの専門的チェック・相談	研修・啓発	保育士・幼稚園教諭等に対する研修 府民に対する啓発	補助対象事業	保育所・幼稚園におけるスクリーニング、相談、事後支援事業	補助対象経費	医師・臨床心理士の謝金・旅費	補助率	1/2	実施予定市町村	20年度:13市町村→21年度:18市町村→22年度:25市町村
技術指導	市町村事業の進め方、人員配置等の指導																
発達クリニック	医療面からの専門的チェック・相談																
研修・啓発	保育士・幼稚園教諭等に対する研修 府民に対する啓発																
補助対象事業	保育所・幼稚園におけるスクリーニング、相談、事後支援事業																
補助対象経費	医師・臨床心理士の謝金・旅費																
補助率	1/2																
実施予定市町村	20年度:13市町村→21年度:18市町村→22年度:25市町村																
担当課・係名	障害者支援課 認定・精神担当	課・係電話番号	075-414-4732														

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	妊婦健康診査支援特別対策費				
予算額	793,946千円	新規・継続の別	継続		
<p>事業内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>目的 対象 方法等</p> </div>	<p>1 趣 旨</p> <p>市町村が実施する妊婦健診について、最大14回に拡充するために必要な経費を助成</p> <p>2 事業概要</p> <p>「京都府こども未来基金」を活用し、経費の1/2を市町村に対し補助</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> <p><20年度まで></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>9回 個人負担又は 市町村任意助成</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><21~22年度></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">9回</div> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">府 1/2</td> <td style="padding: 5px;">市町村 1/2</td> </tr> </table> <p>5回 市町村</p> </div> </div> </div> <p>3 事業期間</p> <p>平成22年度までの2年間の緊急措置</p>			府 1/2	市町村 1/2
府 1/2	市町村 1/2				
担当課・係名	こども未来課 子育て支援担当	課・係 電話番号	075-414-4581		

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	子育て支援特別対策費												
予算額	994,000千円	新規・継続の別	継続										
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨 「京都府こども未来基金」を活用し、子どもを安心して育てることができる体制整備を実施 2 事業概要 <table border="1" data-bbox="400 766 1422 1888"> <thead> <tr> <th data-bbox="400 766 624 853">事業名</th> <th data-bbox="624 766 1422 853">概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="400 853 624 1198"> 保育所等整備事業 </td> <td data-bbox="624 853 1422 1198"> ①保育所等緊急整備事業 平成22年度末までを集中重点期間とした保育所等の緊急整備を実施 ----- ②放課後児童クラブ設置促進事業 空き教室等を放課後児童クラブとして使用するために必要な建物改修等の経費の補助を実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1198 624 1373"> 保育の質の向上のための研修事業 </td> <td data-bbox="624 1198 1422 1373"> 保育の質の向上のために保育士を対象に研修を実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1373 624 1543"> 保育士等再就業支援事業 </td> <td data-bbox="624 1373 1422 1543"> 離職した保育士等の再就業を支援するため、保育現場の体験プログラムや保育に係る最新の情報を提供するセミナーを開催 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1543 624 1888"> 保育所等問題解決支援事業 </td> <td data-bbox="624 1543 1422 1888"> ①保育士・放課後指導員の「困難ケースへの対応力」、「発達障害児などに対する保育・指導力」、「児童虐待の未然防止能力」などの向上を図るため、保育所・放課後児童クラブにアドバイザーを派遣 ----- ②保護者支援のための市町村の取組に外部の専門家等を講師として派遣 </td> </tr> </tbody> </table>			事業名	概 要	保育所等整備事業	①保育所等緊急整備事業 平成22年度末までを集中重点期間とした保育所等の緊急整備を実施 ----- ②放課後児童クラブ設置促進事業 空き教室等を放課後児童クラブとして使用するために必要な建物改修等の経費の補助を実施	保育の質の向上のための研修事業	保育の質の向上のために保育士を対象に研修を実施	保育士等再就業支援事業	離職した保育士等の再就業を支援するため、保育現場の体験プログラムや保育に係る最新の情報を提供するセミナーを開催	保育所等問題解決支援事業	①保育士・放課後指導員の「困難ケースへの対応力」、「発達障害児などに対する保育・指導力」、「児童虐待の未然防止能力」などの向上を図るため、保育所・放課後児童クラブにアドバイザーを派遣 ----- ②保護者支援のための市町村の取組に外部の専門家等を講師として派遣
事業名	概 要												
保育所等整備事業	①保育所等緊急整備事業 平成22年度末までを集中重点期間とした保育所等の緊急整備を実施 ----- ②放課後児童クラブ設置促進事業 空き教室等を放課後児童クラブとして使用するために必要な建物改修等の経費の補助を実施												
保育の質の向上のための研修事業	保育の質の向上のために保育士を対象に研修を実施												
保育士等再就業支援事業	離職した保育士等の再就業を支援するため、保育現場の体験プログラムや保育に係る最新の情報を提供するセミナーを開催												
保育所等問題解決支援事業	①保育士・放課後指導員の「困難ケースへの対応力」、「発達障害児などに対する保育・指導力」、「児童虐待の未然防止能力」などの向上を図るため、保育所・放課後児童クラブにアドバイザーを派遣 ----- ②保護者支援のための市町村の取組に外部の専門家等を講師として派遣												
担当課・係名	こども未来課 子育て支援担当	課・係 電話番号	075-414-4581										

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	「ゆめこうば」支援事業費																										
予算額	24,000千円	新規・継続の別	継 続 系																								
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>就労意欲がある障害者に雇用の場を確保するため、障害者雇用を前提に起業した事業所に助成を行い、障害者雇用を促進</p> <p>また、障害者の職業能力を開発し、福祉的就労から一般就労への移行を促すために、施設入所・通所者を対象に就労訓練及び企業実習を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) ゆめこうば支援事業</p> <table border="1" data-bbox="405 1055 1458 1503"> <tr> <td>事業内容</td> <td>・就労指導等を行うジョブパートナーを配置した就労意欲のある5名程度の障害者のグループ（ゆめこうば）を単位として助成 ・新たに「ゆめこうば協議会」を設置し、各グループの連携強化、人材育成や事業拡大を支援</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>障害者による事業体（授産施設、共同作業所等がバックアップ）</td> </tr> <tr> <td>補助対象</td> <td>ジョブパートナーの人件費等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>府1/2 市町村1/2</td> </tr> <tr> <td>事業例</td> <td>喫茶、物流管理、ビルメンテ等</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>20,500千円</td> </tr> </table> <p>(2) 就労訓練支援事業</p> <table border="1" data-bbox="405 1599 1458 1895"> <tr> <td>事業内容</td> <td>施設に在籍しながら、直接就業につながる就労訓練・企業実習</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>社会福祉法人</td> </tr> <tr> <td>補助対象</td> <td>就労訓練（2ヶ月）、企業実習（20日を上限）に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>府 10/10</td> </tr> <tr> <td>事業例</td> <td>農作業（花きの育苗）、家事援助に必要な訓練</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>3,500千円</td> </tr> </table>			事業内容	・就労指導等を行うジョブパートナーを配置した就労意欲のある5名程度の障害者のグループ（ゆめこうば）を単位として助成 ・新たに「ゆめこうば協議会」を設置し、各グループの連携強化、人材育成や事業拡大を支援	事業主体	障害者による事業体（授産施設、共同作業所等がバックアップ）	補助対象	ジョブパートナーの人件費等	補助率	府1/2 市町村1/2	事業例	喫茶、物流管理、ビルメンテ等	予算額	20,500千円	事業内容	施設に在籍しながら、直接就業につながる就労訓練・企業実習	事業主体	社会福祉法人	補助対象	就労訓練（2ヶ月）、企業実習（20日を上限）に要する経費	補助率	府 10/10	事業例	農作業（花きの育苗）、家事援助に必要な訓練	予算額	3,500千円
事業内容	・就労指導等を行うジョブパートナーを配置した就労意欲のある5名程度の障害者のグループ（ゆめこうば）を単位として助成 ・新たに「ゆめこうば協議会」を設置し、各グループの連携強化、人材育成や事業拡大を支援																										
事業主体	障害者による事業体（授産施設、共同作業所等がバックアップ）																										
補助対象	ジョブパートナーの人件費等																										
補助率	府1/2 市町村1/2																										
事業例	喫茶、物流管理、ビルメンテ等																										
予算額	20,500千円																										
事業内容	施設に在籍しながら、直接就業につながる就労訓練・企業実習																										
事業主体	社会福祉法人																										
補助対象	就労訓練（2ヶ月）、企業実習（20日を上限）に要する経費																										
補助率	府 10/10																										
事業例	農作業（花きの育苗）、家事援助に必要な訓練																										
予算額	3,500千円																										
担当課・係名	障害者支援課 社会参加担当	課・係 電話番号	075-414-4601																								

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	「府庁ゆめこうば」推進事業費		
予算額	12,860千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>京都府が知的障害者を非常勤職員として直接雇用するとともに、障害者雇用を行う社会福祉法人等に業務を委託することにより、障害者雇用を促進</p> <p>2 事業内容</p> <p>▶ 業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁における文書仕分け・配布等 非常勤職員として4名程度の障害者を雇用して実施 ・ 地域機関における庁舎清掃等 障害者を雇用する社会福祉法人等に委託して実施 <p>▶ 雇用人数 6名程度</p> <p>▶ 対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務経費（人件費等） ・ 指導員（ジョブパートナー）配置経費 		
担当課・係名	障害者支援課 社会参加担当	課・係 電話番号	075-414-4603

平成22年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部

事業名	自殺対策総合推進事業費								
予算額	93,950千円	新規・継続の別	新規						
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣旨 自殺者数が依然高い水準で推移している厳しい状況の中、自殺ストップセンターを核として、関係機関相互の連携により、「5つの柱」で総合的な自殺対策を推進								
	2 事業概要								
	(1) 自殺ストップセンターによる対応								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 電話相談時間の延長、面接相談の実施 「いのちのサポートチーム」(弁護士、ソーシャルワーカー等)を編成し、相談内容に応じて協働して対応 </td> <td>29,384</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	予算額(千円)	<ul style="list-style-type: none"> 電話相談時間の延長、面接相談の実施 「いのちのサポートチーム」(弁護士、ソーシャルワーカー等)を編成し、相談内容に応じて協働して対応 	29,384				
	事業内容	予算額(千円)							
	<ul style="list-style-type: none"> 電話相談時間の延長、面接相談の実施 「いのちのサポートチーム」(弁護士、ソーシャルワーカー等)を編成し、相談内容に応じて協働して対応 	29,384							
	(2) ハイリスク者へのアプローチ								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ○相談支援強化事業 <ul style="list-style-type: none"> 弁護士による労働相談、メンタルヘルス相談の実施 多重債務相談の実施、クレジット利用の注意喚起 </td> <td>8,966 (一部再掲)</td> </tr> <tr> <td> ○自殺未遂者対策事業 <ul style="list-style-type: none"> 自殺未遂者と接する医療機関の対応力の向上 救急医療従事者向けのパンフレット作成 </td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	予算額(千円)	○相談支援強化事業 <ul style="list-style-type: none"> 弁護士による労働相談、メンタルヘルス相談の実施 多重債務相談の実施、クレジット利用の注意喚起 	8,966 (一部再掲)	○自殺未遂者対策事業 <ul style="list-style-type: none"> 自殺未遂者と接する医療機関の対応力の向上 救急医療従事者向けのパンフレット作成 	3,000		
	事業内容	予算額(千円)							
	○相談支援強化事業 <ul style="list-style-type: none"> 弁護士による労働相談、メンタルヘルス相談の実施 多重債務相談の実施、クレジット利用の注意喚起 	8,966 (一部再掲)							
○自殺未遂者対策事業 <ul style="list-style-type: none"> 自殺未遂者と接する医療機関の対応力の向上 救急医療従事者向けのパンフレット作成 	3,000								
(3) 自殺予防の気運の醸成									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ○広報・啓発促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 近畿府県合同テレビコマーシャルの実施 シンポジウムの開催 </td> <td>12,500</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	予算額(千円)	○広報・啓発促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 近畿府県合同テレビコマーシャルの実施 シンポジウムの開催 	12,500					
事業内容	予算額(千円)								
○広報・啓発促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 近畿府県合同テレビコマーシャルの実施 シンポジウムの開催 	12,500								
(4) 人的基盤の整備									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ○対応力向上支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 企業等労務管理者等への臨床心理士の派遣 かかりつけ医に対するうつ病対応力向上研修の実施 </td> <td>3,100</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	予算額(千円)	○対応力向上支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 企業等労務管理者等への臨床心理士の派遣 かかりつけ医に対するうつ病対応力向上研修の実施 	3,100					
事業内容	予算額(千円)								
○対応力向上支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 企業等労務管理者等への臨床心理士の派遣 かかりつけ医に対するうつ病対応力向上研修の実施 	3,100								
(5) 地域活動の強化									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ○市町村、団体支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 市町村が実施する自殺予防対策事業を支援 いのちの電話、自死遺族団体等民間団体への支援 </td> <td>37,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	予算額(千円)	○市町村、団体支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 市町村が実施する自殺予防対策事業を支援 いのちの電話、自死遺族団体等民間団体への支援 	37,000					
事業内容	予算額(千円)								
○市町村、団体支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 市町村が実施する自殺予防対策事業を支援 いのちの電話、自死遺族団体等民間団体への支援 	37,000								
担当課名	消費生活安全センター 相談・情報担当 障害者支援課 認定・精神担当	課・担当 電話番号	075-671-0030 075-414-4606						

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	「高齢者見守り隊」事業費		
予算額	11,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 事業内容 目的 対象 方法等	<p>地域の隅々まで目が届きにくい状況や、地域のつながりの希薄化、社会的孤立・孤独等が発生している中で、地域の様々な団体や地域住民とともに、地域を支えていく新たな仕組みづくりを支援</p> <p>市町村社協を軸として、地域のボランティアグループやNPO、様々な団体、地域住民と協働して、地域の高齢者の見守り活動や地域住民のニーズに対応したインフォーマル(制度外)サービス提供の仕組みづくりを行う。</p> <p>▶ 活動例 各団体の協働、連携による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者等の見守り活動、配食サービス等 ・ふれあいサロン、ミニデイサービス等の運営 ・家具の移動、大掃除、買物代行等日常生活の助け合い活動 ・活動の担い手養成講座、小地域での相談窓口の開設 ・要配慮者見守りマップ等の作成 <p>▶ 支援内容 25市町村社協への事業費助成及び府社協活動事務費</p> <p>▶ 実施社協 全市町村社協(20~本格実施)</p>		
担当課・係名	福祉・援護課 地域福祉・福祉のまち推進担当	課・係 電話番号	075-414-4551

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	高齢者くらしのサポート事業費		
予算額	39,200千円	新規・継続の別	新規
事業内容 （目 対 方 的 象 法 等）	1 趣 旨 高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に生活できるよう、暮らしに必要なサービス等を利用できるよう必要な支援を行う。		
	2 事業概要		
	(1) 高齢者日常生活支援事業 16,000千円		
	事業内容	社会福祉協議会やNPO等が実施する高齢者の日常生活を支援するためのサービス利用料を減免する場合に、実施団体に対して必要な経費を助成	
	制度対象者	日常生活支援事業を利用している高齢者で、市町村民税非課税世帯	
	補助単価	利用者一人当たり 上限 10千円	
	(2) 介護予防安心住まい推進事業 12,000千円		
	事業内容	要介護状態となるおそれの高い高齢者の転倒事故防止等のため、市町村が実施する住宅改修補助に対して助成	
	制度対象者	市町村が支援の必要を認めた介護認定を受けていない65歳以上の高齢者で、市町村民税非課税世帯	
	補助率等	補助率 2/3、上限 160千円	
(3) 福祉有償運送支援事業 11,200千円			
	福祉車両購入助成	運転協力者養成講習	
事業内容	高齢者の移動手段を確保するため、福祉有償運送事業者の車両購入に対して助成	福祉有償運送事業の円滑な実施を図るため、運転協力者の養成講習を実施	
実施主体	福祉有償運送事業者	府 (講習実施団体へ委託)	
補助率等	補助率 1/2 上限 2,000千円		
担当課・係名	福祉・援護課 地域福祉・福祉のまち推進担当 高齢者支援課 長寿・介護予防担当	課・係 電話番号	075-414-4569 075-414-4570

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	福祉人材4,000人確保事業費			
予算額	2,442,655千円	新規・継続の別	継続	
事業内容	<p>1 趣旨 給与水準が相対的に低く、人材も定着しにくい状況にある福祉・介護人材の参入・定着を図るため、人材の確保や処遇改善等の取組を総合的に推進</p> <p>2 目標 23年度までに新たに4,000人（うち有資格取得者2,000人）の確保</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p>			
		事業名	事業費	事業概要
	人材確保等	介護・福祉サービス人材確保プラン推進事業	246,370	「きょうと介護・福祉ジョブネット」を中核に、介護福祉士等の養成学校、職能団体、事業者団体などの幅広い関係機関と共同・連携して総合的な事業を展開
		福祉施設人材確保・サービス向上補助金(人材確保関連分)	200,000	民間社会福祉施設等が行う労働環境整備や離職防止等の取組に対する支援
		福祉人材・研修センター運営事業	70,830	・福祉人材バンク登録 ・福祉施設職員等への研修等による資質向上
		小計	517,200	
	処遇改善	民間社会福祉施設職員共済事業	712,533	社会福祉施設職員等退職手当共済法による施設職員退職金の一部負担
		産休・病休代替職員補助事業	18,700	代替職員の雇用を助成し、産休・病休等の取得を支援
		小計	731,233	
	職場環境改善	民間社会福祉施設整備促進①整備資金貸付事業費	950,000	府社会福祉協議会が行う民間社会福祉施設整備資金の貸付原資の貸付
②整備資金借入金利子補給金		244,222	民間社会福祉施設の整備に係る福祉・医療機構からの借入金利子支払いに対する補助	
小計		1,194,222		
	合計	2,442,655		
	【参考】			
	介護職員処遇改善緊急対策費	4,047,387	介護保険及び障害福祉サービスに従事する職員の賃金改善を促進するため、処遇改善に取り組む事業者に対する助成等	
担当課・係名	介護・福祉事業課 振興担当 こども未来課 企画担当	課・係電話番号	075-414-4561 075-414-4591	

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	介護・福祉サービス人材確保プラン推進事業費（再掲）																								
予算額	246,370千円	新規・継続の別	継続																						
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 介護・福祉分野において安定したサービスが可能となるよう、人材確保や定着を図るための総合的な対策を実施</p> <p>2 事業概要 「きょうと介護・福祉ジョブネット」（プラットフォーム）を中核に、介護福祉士等の養成学校、職能団体、介護・福祉事業者団体などの幅広い関係機関と共同・連携して総合的な事業を展開</p> <p>【人材確保目標】 23年度までに新たに4,000人（うち有資格取得者2,000人）を確保</p> <table border="1" data-bbox="391 1025 1412 1818"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有資格者再就業支援事業</td> <td>福祉職場に就職していない介護福祉士等有資格者の職場復帰を支援</td> </tr> <tr> <td>プラットフォーム運営</td> <td>ワーキンググループ運営費等</td> </tr> <tr> <td>「福祉の仕事」イメージ回復事業</td> <td>福祉の仕事の魅力を伝える取り組み等</td> </tr> <tr> <td>研修ネットワーク構築事業</td> <td>福祉関係団体がそれぞれに実施する研修の体系化</td> </tr> <tr> <td>進路選択支援専門員設置</td> <td>学生の進路選択支援</td> </tr> <tr> <td>就業体験（インターンシップ）</td> <td>求職者と雇用者のミスマッチを防止するための職場体験</td> </tr> <tr> <td>複数事業所連携事業</td> <td>事業所合同研修、就職説明会等の支援</td> </tr> <tr> <td>キャリアアップ研修事業</td> <td>事業者団体等の集合研修を支援</td> </tr> <tr> <td>福祉人材カフェ事業</td> <td>就業相談による就職活動支援（北部サテライト含む）</td> </tr> <tr> <td>【新規】 介護・福祉人材キャリア形成事業</td> <td>働きながら介護福祉士等の資格を目指す介護職員を支援</td> </tr> </tbody> </table>			事業区分	内 容	有資格者再就業支援事業	福祉職場に就職していない介護福祉士等有資格者の職場復帰を支援	プラットフォーム運営	ワーキンググループ運営費等	「福祉の仕事」イメージ回復事業	福祉の仕事の魅力を伝える取り組み等	研修ネットワーク構築事業	福祉関係団体がそれぞれに実施する研修の体系化	進路選択支援専門員設置	学生の進路選択支援	就業体験（インターンシップ）	求職者と雇用者のミスマッチを防止するための職場体験	複数事業所連携事業	事業所合同研修、就職説明会等の支援	キャリアアップ研修事業	事業者団体等の集合研修を支援	福祉人材カフェ事業	就業相談による就職活動支援（北部サテライト含む）	【新規】 介護・福祉人材キャリア形成事業	働きながら介護福祉士等の資格を目指す介護職員を支援
事業区分	内 容																								
有資格者再就業支援事業	福祉職場に就職していない介護福祉士等有資格者の職場復帰を支援																								
プラットフォーム運営	ワーキンググループ運営費等																								
「福祉の仕事」イメージ回復事業	福祉の仕事の魅力を伝える取り組み等																								
研修ネットワーク構築事業	福祉関係団体がそれぞれに実施する研修の体系化																								
進路選択支援専門員設置	学生の進路選択支援																								
就業体験（インターンシップ）	求職者と雇用者のミスマッチを防止するための職場体験																								
複数事業所連携事業	事業所合同研修、就職説明会等の支援																								
キャリアアップ研修事業	事業者団体等の集合研修を支援																								
福祉人材カフェ事業	就業相談による就職活動支援（北部サテライト含む）																								
【新規】 介護・福祉人材キャリア形成事業	働きながら介護福祉士等の資格を目指す介護職員を支援																								
担当課・係名	介護・福祉事業課 振興担当	課・係電話番号	075-414-4561																						

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	介護職員処遇改善緊急対策費																						
予算額	4,047,387千円	新規・継続の別	新規																				
事業内容	<p>1 趣 旨 介護施設・障害者支援施設等の職員の賃金改善を図るため、処遇改善に取り組む事業者に対して支援</p> <p>2 事業概要 介護職員の処遇改善</p> <table border="1" data-bbox="448 972 1417 1545"> <tr> <td>交付対象</td> <td colspan="3">介護職員の賃金改善を含む処遇改善計画を作成し、府の承認を得た事業者</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td colspan="3">介護報酬総額×交付率(サービスの種別毎に定める率) 【交付率】 介護分 1.1~4.2% 障害分 0.9~15.5%</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成21年度から平成23年度まで</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>介護施設分</td> <td>3,222,255千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>障害者施設分</td> <td>825,132千円</td> <td></td> </tr> </table>			交付対象	介護職員の賃金改善を含む処遇改善計画を作成し、府の承認を得た事業者			交付額	介護報酬総額×交付率(サービスの種別毎に定める率) 【交付率】 介護分 1.1~4.2% 障害分 0.9~15.5%			事業期間	平成21年度から平成23年度まで			事業費	介護施設分	3,222,255千円			障害者施設分	825,132千円	
交付対象	介護職員の賃金改善を含む処遇改善計画を作成し、府の承認を得た事業者																						
交付額	介護報酬総額×交付率(サービスの種別毎に定める率) 【交付率】 介護分 1.1~4.2% 障害分 0.9~15.5%																						
事業期間	平成21年度から平成23年度まで																						
事業費	介護施設分	3,222,255千円																					
	障害者施設分	825,132千円																					
担当課・係名	高齢者支援課 障害者支援課	介護計画・管理担当 福祉サービス担当	課・係電話番号 075-414-4579 075-414-4596																				

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	介護・福祉人材キャリア形成事業費 (再掲)		
予算額	35,000千円	新規・継続の別	新規
<p>事業内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>目的 対象 方法等</p> </div>	<p>1 趣 旨 介護・福祉現場における「人材定着」と介護従事者の「専門性向上・スキルアップ」を支援する。</p> <p>2 事業概要 介護・福祉施設等に従事している職員に対して、養成校の教員が施設等へ出向き研修・講義を行い、職員の資格取得や介護技術の向上を支援する。</p> <p>【研修・講義事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士等の資格取得を支援するための対策講座 ・介護技術の向上のための研修 など <p>【参考：介護福祉士資格取得支援】</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[実務経験3年以上 で 受験資格取得] --> B["(支援事業) 受験対策講座"] B --> C[合格で資格取得] </pre> </div>		
担当課・係名	介護・福祉事業課 振興担当	課・係電話番号	075-414-4561

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	療養病床あんしん確保緊急対策事業費		
予算額	24,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨 療養病床の入院患者に必要な医療・介護サービスを確保するためのセーフティネットとして、臨時的・緊急的に必要な療養病床の確保を図る。		
	2 事業概要 (1)「がんばる医療療養病床」支援		
	内 容	医療療養病床の維持を図る医療機関（医療区分1患者の割合が病床数の40%を超える場合）に対する助成	
	補 助 基準額	55,000円/床・年	
	補助率	1/2	
	(2)「さきがけ医療療養病床」支援		
	内 容	介護療養病床から医療療養病床へ転換する医療機関が行う設備整備等に対する助成	
	補 助 基準額	病床数に応じた補助基準額（上限）を設定 上限：4,000千円～10,000千円	
	補助率	1/2	
	対 象 経 費	療養環境の改善を図るための設備等の購入、設置等に係る経費 【例】特殊浴槽、天井走行リフト、電動ギャッジベッド 等	
担当課・担当	高齢者支援課 介護計画・管理担当	課・担当電話番号	075-414-4578

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	離職者向け住宅手当緊急支給事業費		
予算額	290,988千円	新規・継続の別	新規
事業内容 (目的 対象 方法等)	目的	解雇等により住居を失った離職者等に対して、就職活動に必要なと なる安定した住宅を確保するための住宅手当を支給し、生活の再建 を支援する。	
	事業内容	<p>【支給対象者】 2年以内に離職した者で、就労能力と就労意欲のあるもののうち、 住宅を喪失または喪失するおそれのある者</p> <p>【支給額】 生活保護の住宅扶助特別基準額と同額 ○単身者 38,200円～42,500円 ○複数世帯 49,700円～55,000円</p> <p>【支給期間】 6箇月以内</p> <p>【受給手続】 府保健所及び京都市並びに府内各市福祉事務所</p>	
担当課・係名	福祉・援護課 生活保護医療担当	課・係 電話番号	075-414-4557

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	離職者緊急一時宿泊事業費		
予算額	106,722千円	新規・継続の別	新規
事業内容 (目的 対象 方法等)	目的	解雇等により住居を失った離職者等に対して、緊急一時的な宿泊場所を提供するとともに、福祉事務所等職員による相談、生活指導等を行うことにより、生活の再建を支援する。	
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急一時宿泊施設の設置 <利用対象者> 住居のない離職者等生活に困窮する者 <利用期間> 利用開始から1週間以内 <宿泊場所> 京都府内(京都市除く)4箇所 10人分 京都市 10人分 <利用料> 無料 京都府及び京都市で実施 ※京都市へ補助金支給 ○ ホームレス対策事業 京都市が実施するホームレスの自立支援事業に対して補助 ・自立支援センターによる就労支援・指導等の実施等 	
担当課・係名	福祉・援護課 生活保護医療担当	課・係 電話番号	075-414-4557

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	母子家庭等緊急就職支援事業費		
予算額	107,000 千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨 母子家庭の母等に対し、安定した収入を得て自立した生活を送ることができるようジョブパーク等と連携して就労・生活支援を行う。		
	2 事業概要		
	区分 高等技能訓練 促進給付金事業	事業内容 資格取得を目的に修学する母子家庭の母等に支給する給付金の拡充 ・対 象 看護師等資格取得養成機関(看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士)に修学する者 ・支給単価 月額 141千円 ・支給期間 修業期間の全期間	
	母子家庭等就職 支援保育サービス事業	母子家庭等自立支援センター等において職業訓練等を実施する際に、保育ルームを設置し、参加しやすい環境を整備	
	母子家庭等就職 活動支援事業	専門員を配置し、母子家庭の母等が就業しやすい求人先の情報収集や求人要請等の協力依頼を実施	
母子家庭等就職 支援訪問事業	福祉事務所等に訪問支援員を配置し、母子家庭の母等に対する戸別訪問等を含めたきめ細やかな相談対応等		
担当課・係名	家庭支援課 母子・父子担当	課・係 電話番号	075-414-4585

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	入所児童緊急就職支援等事業費		
予算額	116,000 千円	新規・継続の別	新規
事業内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 趣 旨</p> <p>厳しい雇用経済情勢の中、安定的な就職が困難な状況にある児童養護施設の入所者等に対して就職支援を行い、退所後の自立支援を図るとともに、施設入所児童等の安全確保や生活向上のため、施設改修や備品購入等の環境改善を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>○ 就職支援事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (内容) 就職活動支援、面接指導、就職後のフォローアップ、就職先の開拓 等 ※ ジョブパークと連携して実施 </div> <p>(対象) 児童入所施設等退所(予定)者</p> <hr/> <p>○ 生活向上のための環境改善事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (内容) 安全対策、環境改善を図るための施設整備・備品購入に対する補助 </div> <p>(対象) 児童入所施設等</p> </div>		
担当課名	家庭支援課 家庭福祉担当	課・担当 電話番号	075-414-4582

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	社会福祉施設防災対策等事業費																				
予算額	3,426,000千円	新規・継続の別	新規																		
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>(1) 社会福祉施設等の入所者の安心・安全を確保するため、事業者が行う耐震化、スプリンクラー整備等に対して支援を実施</p> <p>(2) 介護基盤の整備を促進するため、事業者が行う施設整備に対して支援を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 社会福祉施設等の耐震化等 (1,163,516千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>耐震化整備事業</td> <td>スプリンクラー整備事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td colspan="2">府(京都市以外の事業者) 京都市(京都市内の事業者)</td> </tr> <tr> <td>交付対象</td> <td colspan="2">障害児者関係施設、児童関係施設</td> </tr> </table> <p>(2) 介護施設の基盤整備 (2,262,484千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>介護基盤緊急整備事業</td> <td>スプリンクラー整備事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>市町村</td> <td>府(広域型老人福祉施設等) 市町村(小規模多機能型居宅介護事業所)</td> </tr> <tr> <td>交付対象</td> <td>小規模介護施設、地域介護拠点等</td> <td>広域型老人福祉施設等(特別養護老人ホーム等) 小規模多機能居宅介護事業所</td> </tr> </table>			区 分	耐震化整備事業	スプリンクラー整備事業	事業主体	府(京都市以外の事業者) 京都市(京都市内の事業者)		交付対象	障害児者関係施設、児童関係施設		区 分	介護基盤緊急整備事業	スプリンクラー整備事業	事業主体	市町村	府(広域型老人福祉施設等) 市町村(小規模多機能型居宅介護事業所)	交付対象	小規模介護施設、地域介護拠点等	広域型老人福祉施設等(特別養護老人ホーム等) 小規模多機能居宅介護事業所
区 分	耐震化整備事業	スプリンクラー整備事業																			
事業主体	府(京都市以外の事業者) 京都市(京都市内の事業者)																				
交付対象	障害児者関係施設、児童関係施設																				
区 分	介護基盤緊急整備事業	スプリンクラー整備事業																			
事業主体	市町村	府(広域型老人福祉施設等) 市町村(小規模多機能型居宅介護事業所)																			
交付対象	小規模介護施設、地域介護拠点等	広域型老人福祉施設等(特別養護老人ホーム等) 小規模多機能居宅介護事業所																			
担当課・係名	高齢者支援課 障害者支援課 家庭支援課	福祉サービス担当 福祉サービス担当 家庭福祉担当	課・係電話番号 075-414-4575 075-414-4596 075-414-4582																		

平成 2 2 年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	あんしん医療制度構築共同検討事業費		
予算額	5, 0 0 0 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>府民の健康確保に必要な医療サービスを将来にわたり安定的に提供できる制度の構築に資するため、あんしん医療制度研究会において調査研究を行う。</p> <p>2 内 容</p> <p>あんしん医療制度研究会の報告を踏まえ、同研究会の下に、複数のワーキンググループを設置し、具体的な制度設計等の検討を行う。</p> <p>【検討内容（予定）】</p> <p>①市町村国保の都道府県単位化の制度設計に関する検討</p> <p>②制度を変更した場合の保険料試算</p> <p>③他府県と共通する課題（例：健康づくり、医療と介護の連携）の抽出・検討</p>		
担当課・係名	医療企画課	課・係 電話番号	075-414-4629

平成 2 2 年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	後期高齢者医療保険料増加抑制特別対策費		
予算額	500,000千円	新規・継続の別	新規
<p>事業内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>目的 対象 方法等</p> </div>	<p>1 趣 旨</p> <p>平成22・23年度の保険料については、改定により大幅な増加が見込まれるため、府独自の保険料軽減事業に加え、府に設置している基金を活用することにより、高齢者の保険料負担を軽減</p> <p>2 内 容</p> <p>後期高齢者医療広域連合に対し、保険料増加抑制に必要な経費として、後期高齢者医療財政安定化基金を取り崩し交付することにより、保険料を現行水準並みに抑制 (基金は国、京都府、広域連合が1/3ずつ拠出)</p>		
担当課・係名	医療保険課 高齢者・福祉医療担当	課・係 電話番号	075-414-4576

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	在宅重症難病患者療養支援事業費 小児慢性特定疾患児家庭支援事業費								
予算額	47,500千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨 難病患者、小児慢性特定疾患患者等の負担軽減を図り、安心して療養生活を送ることができるよう支援</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="406 806 1430 1713"> <thead> <tr> <th data-bbox="406 806 943 851">在宅重症難病患者</th> <th data-bbox="943 806 1430 851">小児慢性特定疾患患者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="406 851 1430 929"> ●専用相談窓口の設置 各保健所（平日 8:30～17:30）に総合相談窓口設置 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 929 943 1713"> ●ネットワーク会議の開催 ・難病拠点病院・協力病院、京都市、保健所等により各医療圏の医療資源情報等を共有 ●受入体制の整備 ・介護者の疾病等により一時的に在宅療養が困難な患者が、円滑に入院できるよう病院に委託 契約病院 （難病拠点・協力病院等） ●療養生活用機器の貸出 ・試用・研修用機器を難病相談支援センターに配備し、難病患者等に貸出 </td> <td data-bbox="943 929 1430 1713"> ●医師等による専門相談 ・各保健所で家庭での看護方法、精神的支援など （年2～3回程度） ●気軽に相談できる体制づくり ・ピアカウンセラーを通じて、保護者同士が交流 ●日常生活用具・医療用具の購入助成 ・歩行支援用具、吸入器等 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(参 考)</p> <p>▶ 医療費に対する府助成 特定疾患治療研究事業費 22予算額 2,661,063千円 小児慢性特定疾患対策費 // 285,244千円</p>			在宅重症難病患者	小児慢性特定疾患患者	●専用相談窓口の設置 各保健所（平日 8:30～17:30）に総合相談窓口設置		●ネットワーク会議の開催 ・難病拠点病院・協力病院、京都市、保健所等により各医療圏の医療資源情報等を共有 ●受入体制の整備 ・介護者の疾病等により一時的に在宅療養が困難な患者が、円滑に入院できるよう病院に委託 契約病院 （難病拠点・協力病院等） ●療養生活用機器の貸出 ・試用・研修用機器を難病相談支援センターに配備し、難病患者等に貸出	●医師等による専門相談 ・各保健所で家庭での看護方法、精神的支援など （年2～3回程度） ●気軽に相談できる体制づくり ・ピアカウンセラーを通じて、保護者同士が交流 ●日常生活用具・医療用具の購入助成 ・歩行支援用具、吸入器等
在宅重症難病患者	小児慢性特定疾患患者								
●専用相談窓口の設置 各保健所（平日 8:30～17:30）に総合相談窓口設置									
●ネットワーク会議の開催 ・難病拠点病院・協力病院、京都市、保健所等により各医療圏の医療資源情報等を共有 ●受入体制の整備 ・介護者の疾病等により一時的に在宅療養が困難な患者が、円滑に入院できるよう病院に委託 契約病院 （難病拠点・協力病院等） ●療養生活用機器の貸出 ・試用・研修用機器を難病相談支援センターに配備し、難病患者等に貸出	●医師等による専門相談 ・各保健所で家庭での看護方法、精神的支援など （年2～3回程度） ●気軽に相談できる体制づくり ・ピアカウンセラーを通じて、保護者同士が交流 ●日常生活用具・医療用具の購入助成 ・歩行支援用具、吸入器等								
担当課・係名	健康対策課 疾病対策担当 こども未来課 子育て支援担当	課・係 電話番号	075-414-4725 075-414-4727						

平成 2 2 年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	がん医療体制整備推進事業費										
予算額	105,450 千円	新規・継続の別	継続								
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>死亡原因の第 1 位を占める悪性新生物（がん）について、身近な地域で、質の高い診療を受けることができるよう、がん診療連携拠点病院、がん診療連携協力病院及び地域医療機関との連携を進め、府内全域のがん医療水準の向上を図る。</p> <p>2 事業概要 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="379 992 1434 1865"> <tr> <td data-bbox="379 992 1305 1093">◆がん対策戦略推進会議</td> <td data-bbox="1305 992 1434 1093">450</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="379 1093 1434 1193">▷ 府立医大・京大のがん専門家により京都府の総合的ながん対策を推進</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1193 1305 1294">◆がん診療拠点機能強化</td> <td data-bbox="1305 1193 1434 1294">105,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="379 1294 1434 1865"> <p>がん診療連携拠点病院や協力病院の運営など、がん対策の取組を強化し、患者への相談支援機能の充実等、体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアを担う人材の育成 ・専任職員によるがん登録の充実 ・セカンドオピニオン、がん医療情報等の提供・相談を行う専門職員の配置 <p>▷ がん診療連携拠点病院の機能強化に対する助成 90,000</p> <p>▷ 「地域がん診療連携協力病院」の機能強化に対する助成 15,000</p> <p>※ 地域がん診療連携協力病院： 地域がん診療連携拠点病院が未設置の医療圏において、府独自に設置</p> </td> </tr> </table>			◆がん対策戦略推進会議	450	▷ 府立医大・京大のがん専門家により京都府の総合的ながん対策を推進		◆がん診療拠点機能強化	105,000	<p>がん診療連携拠点病院や協力病院の運営など、がん対策の取組を強化し、患者への相談支援機能の充実等、体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアを担う人材の育成 ・専任職員によるがん登録の充実 ・セカンドオピニオン、がん医療情報等の提供・相談を行う専門職員の配置 <p>▷ がん診療連携拠点病院の機能強化に対する助成 90,000</p> <p>▷ 「地域がん診療連携協力病院」の機能強化に対する助成 15,000</p> <p>※ 地域がん診療連携協力病院： 地域がん診療連携拠点病院が未設置の医療圏において、府独自に設置</p>	
◆がん対策戦略推進会議	450										
▷ 府立医大・京大のがん専門家により京都府の総合的ながん対策を推進											
◆がん診療拠点機能強化	105,000										
<p>がん診療連携拠点病院や協力病院の運営など、がん対策の取組を強化し、患者への相談支援機能の充実等、体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアを担う人材の育成 ・専任職員によるがん登録の充実 ・セカンドオピニオン、がん医療情報等の提供・相談を行う専門職員の配置 <p>▷ がん診療連携拠点病院の機能強化に対する助成 90,000</p> <p>▷ 「地域がん診療連携協力病院」の機能強化に対する助成 15,000</p> <p>※ 地域がん診療連携協力病院： 地域がん診療連携拠点病院が未設置の医療圏において、府独自に設置</p>											
担当課・係名	健康対策課 疾病対策担当	課・係 電話番号	075-414-4725								

平成22年度 当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	がん予防等戦略事業費																				
予算額	20,900千円	新規・継続の別	継続																		
事業内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 趣 旨</p> <p>府民のがん罹患・死亡を戦略的に減少させるため、検診を受診しやすい環境の整備や民間と協働した予防・普及啓発に取り組むとともに、がん登録等による施策の効果測定体制を構築する。</p> <p>2 事業概要 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="408 949 1428 1827" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">事業</th> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検診受診体制整備 推進事業</td> <td>○検診等受診率向上推進会議を設置し、受診しやすい体制整備に向けた取組を推進</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> </tr> <tr> <td>健診強化月間推進 事業</td> <td>○府独自に啓発強化月間を設定し、民間団体等と連携して健診の受診啓発活動を実施 ○職場で取り組む健康づくり表彰を実施</td> <td style="text-align: center;">6,900</td> </tr> <tr> <td>保健事業等実施体制強化事業</td> <td>○医療関連データ等の分析のための保健事業企画者を養成</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> <tr> <td>地域健康課題対策 事業</td> <td>○地域ごとの健康課題に対応するため、保健所が中心となって健康づくりを推進</td> <td style="text-align: center;">2,500</td> </tr> <tr> <td>受診状況等解析事業</td> <td>○罹患率、受療状況等の把握・分析等を行うためのがん登録及び脳卒中登録を実施</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> </tr> </tbody> </table>			事業	内 容	予算額	検診受診体制整備 推進事業	○検診等受診率向上推進会議を設置し、受診しやすい体制整備に向けた取組を推進	1,000	健診強化月間推進 事業	○府独自に啓発強化月間を設定し、民間団体等と連携して健診の受診啓発活動を実施 ○職場で取り組む健康づくり表彰を実施	6,900	保健事業等実施体制強化事業	○医療関連データ等の分析のための保健事業企画者を養成	500	地域健康課題対策 事業	○地域ごとの健康課題に対応するため、保健所が中心となって健康づくりを推進	2,500	受診状況等解析事業	○罹患率、受療状況等の把握・分析等を行うためのがん登録及び脳卒中登録を実施	10,000
事業	内 容	予算額																			
検診受診体制整備 推進事業	○検診等受診率向上推進会議を設置し、受診しやすい体制整備に向けた取組を推進	1,000																			
健診強化月間推進 事業	○府独自に啓発強化月間を設定し、民間団体等と連携して健診の受診啓発活動を実施 ○職場で取り組む健康づくり表彰を実施	6,900																			
保健事業等実施体制強化事業	○医療関連データ等の分析のための保健事業企画者を養成	500																			
地域健康課題対策 事業	○地域ごとの健康課題に対応するため、保健所が中心となって健康づくりを推進	2,500																			
受診状況等解析事業	○罹患率、受療状況等の把握・分析等を行うためのがん登録及び脳卒中登録を実施	10,000																			
担当課・係名	健康対策課 健康づくり担当	課・係 電話番号	075-414-4724																		

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	肝 炎 対 策 費																			
予算額	402,686千円	新規・継続の別	継続																	
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣旨</p> <p>○ウイルス性肝炎（B型・C型）を早期に発見するため、検査体制を強化</p> <p>○ウイルス性肝炎治療に効果が高いインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成することにより、早期治療、肝がんの予防を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">内 容</th> <th style="width: 30%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>▶ 肝炎検査の実施</p> <p>保健所、医療機関における肝炎無料検査</p> </td> <td style="text-align: center;">2,266</td> </tr> <tr> <td> <p>▶ 医療費の助成</p> <p>B型及びC型ウイルス肝炎のインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療に係る医療費の助成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">70%</th> <th style="width: 50%;">30%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">健康保険（国保等）負担</td> <td style="text-align: center;">患者負担</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">公費助成</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">国 1/2</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">府 1/2</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table> </td> <td style="text-align: center;">400,196</td> </tr> <tr> <td> <p>▶ 肝炎対策協議会の開催</p> <p>肝炎診療の充実及び向上等に係る協議</p> </td> <td style="text-align: center;">224</td> </tr> </tbody> </table>			内 容	事業費	<p>▶ 肝炎検査の実施</p> <p>保健所、医療機関における肝炎無料検査</p>	2,266	<p>▶ 医療費の助成</p> <p>B型及びC型ウイルス肝炎のインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療に係る医療費の助成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">70%</th> <th style="width: 50%;">30%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">健康保険（国保等）負担</td> <td style="text-align: center;">患者負担</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">公費助成</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">国 1/2</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">府 1/2</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	70%	30%	健康保険（国保等）負担	患者負担	公費助成		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">国 1/2</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">府 1/2</td> </tr> </table>	国 1/2	府 1/2	400,196	<p>▶ 肝炎対策協議会の開催</p> <p>肝炎診療の充実及び向上等に係る協議</p>	224
内 容	事業費																			
<p>▶ 肝炎検査の実施</p> <p>保健所、医療機関における肝炎無料検査</p>	2,266																			
<p>▶ 医療費の助成</p> <p>B型及びC型ウイルス肝炎のインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療に係る医療費の助成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">70%</th> <th style="width: 50%;">30%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">健康保険（国保等）負担</td> <td style="text-align: center;">患者負担</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">公費助成</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">国 1/2</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">府 1/2</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	70%	30%	健康保険（国保等）負担	患者負担	公費助成		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">国 1/2</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">府 1/2</td> </tr> </table>	国 1/2	府 1/2	400,196										
70%	30%																			
健康保険（国保等）負担	患者負担																			
	公費助成																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">国 1/2</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">府 1/2</td> </tr> </table>	国 1/2	府 1/2																	
国 1/2	府 1/2																			
<p>▶ 肝炎対策協議会の開催</p> <p>肝炎診療の充実及び向上等に係る協議</p>	224																			
担当課・係名	健康対策課 感染症担当	課・係電話番号	075-414-4734																	

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	新型インフルエンザ対策事業費						
予算額	120,930千円	新規・継続の別	継続				
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣旨</p> <p>新型インフルエンザのさらなる流行に備え、府民用の抗インフルエンザ薬を備蓄する。 →今年度備蓄4万6千人分</p> <p>2 事業概要</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項 目</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>抗インフルエンザウイルス薬の安定的確保</td> <td> <p>◆タミフル等の需要増加に確実に対応できるよう、必要量の確保を図る。</p> <p style="text-align: center;">○ 今回追加発注分 4.6万人分 (現在の備蓄量 42.7万人分)</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 備蓄の考え方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>厚生労働省通知 (H21.1.16) 抗インフルエンザ薬の備蓄量を、H23年度までに国民の45%相当まで引き上げ(国と都道府県との折半) →京都府は、3ヶ年計画(H21~23年度)で備蓄</p> </div>			項 目	事業概要	抗インフルエンザウイルス薬の安定的確保	<p>◆タミフル等の需要増加に確実に対応できるよう、必要量の確保を図る。</p> <p style="text-align: center;">○ 今回追加発注分 4.6万人分 (現在の備蓄量 42.7万人分)</p>
	項 目	事業概要					
抗インフルエンザウイルス薬の安定的確保	<p>◆タミフル等の需要増加に確実に対応できるよう、必要量の確保を図る。</p> <p style="text-align: center;">○ 今回追加発注分 4.6万人分 (現在の備蓄量 42.7万人分)</p>						
担当課・係名	健康対策課 感染症担当	課・係電話番号	075-414-4734				

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	救急医療提供体制整備促進事業費																		
予算額	24,500千円	新規・継続の別	糸巻 糸巻																
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>府内の救急医療体制の充実を図るため、心臓・脳疾患等による救急搬送患者の増加等に対応できる専門性の高い医師や看護師、特定行為認定救急救命士の養成に対して支援</p> <p>2 事業内容</p> <p>【医師・看護師】</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">病院が負担する医師・看護師の専門資格取得等に要する費用に対し助成</td> </tr> <tr> <td>補助基準額</td> <td>医師1人当たり 400千円 看護師1人当たり 700千円</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1 / 3</td> </tr> <tr> <td>対象病院</td> <td>救急告示病院</td> </tr> </table> <p>【認定救急救命士】</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">気管挿管等の特定行為を行える救急救命士の養成実習を行う病院に対する助成</td> </tr> <tr> <td>補助基準額</td> <td>1病院当たり 735千円</td> </tr> <tr> <td>負担割合</td> <td>国 1 / 2、 府 1 / 2</td> </tr> <tr> <td>対象病院</td> <td>公立、公的、民間病院（救命救急センター除く）</td> </tr> </table>			病院が負担する医師・看護師の専門資格取得等に要する費用に対し助成		補助基準額	医師1人当たり 400千円 看護師1人当たり 700千円	補助率	1 / 3	対象病院	救急告示病院	気管挿管等の特定行為を行える救急救命士の養成実習を行う病院に対する助成		補助基準額	1病院当たり 735千円	負担割合	国 1 / 2、 府 1 / 2	対象病院	公立、公的、民間病院（救命救急センター除く）
病院が負担する医師・看護師の専門資格取得等に要する費用に対し助成																			
補助基準額	医師1人当たり 400千円 看護師1人当たり 700千円																		
補助率	1 / 3																		
対象病院	救急告示病院																		
気管挿管等の特定行為を行える救急救命士の養成実習を行う病院に対する助成																			
補助基準額	1病院当たり 735千円																		
負担割合	国 1 / 2、 府 1 / 2																		
対象病院	公立、公的、民間病院（救命救急センター除く）																		
（目的 対象 方法等）																			
担当課・係名	医療課 地域医療担当	課・係直通電話番号	075-414-4744																

平成22年度当初予算案主要事項説明

文化環境部・健康福祉部

事業名	総合医師確保対策費								
予算額	1,867,373千円	新規・継続の別	拡充						
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 医師の確保が困難な地域等における医療体制を確保するため、病・学・公が協働、連携し、総合的な医師確保対策の充実・強化を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>◎ <u>医師バンクの充実</u> 790,310千円</p> <p>(1) <u>バンク機能の拡充</u>〈京都に縁のある医師との絆を強化〉 (9,000千円) ▷ 府内出身の他府県医学生とのネットワークの構築</p> <p>(2) <u>中堅医師の確保</u> (88,000千円) ▷ 地域医療従事医師に対する研修・研究支援 ▷ 「特命病院助教」の設置 〈医科大学〉</p> <p>(3) <u>指導医の確保</u> (89,050千円) ▷ 指導医の派遣経費を派遣元病院に対して補助 ▷ 医師確保助教枠の設置 〈医科大学〉</p> <p>(4) <u>若手医師の確保</u> (600,660千円) 〈医科大学〉</p> <p>(5) <u>女性、退職医師の復職支援</u> (3,600千円)</p> <p>◎ <u>地域医療を担う若手医師の育成</u> 123,400千円</p> <p>(1) <u>北部勤務医師の府内医科大学院学費免除制度</u> (24,200千円) (2) <u>地域医療体験プログラム推進事業</u> (11,000千円) (3) <u>地域医療確保奨学金制度</u> (88,200千円)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">貸与対象者</td> <td>専門研修医、臨床研修医、大学院生、大学生</td> </tr> <tr> <td>貸与額</td> <td>月額15万円 (産婦人科、小児科等の特定診療科は月額5万円加算)</td> </tr> <tr> <td>貸与枠</td> <td>47名</td> </tr> </table> <p>◎ <u>与謝の海病院の高度化</u> 700,000千円 ・ 地域医療の強化のための高度医療機器整備</p> <p>◎ <u>医大の定員増</u> 4,600千円 〈医科大学〉 ・ 医大の入学定員増(2名増)に係る教育環境の整備</p> <p>◎ <u>救急勤務・産科医等確保支援</u> 249,063千円 ・ 地域の救急勤務医、産科医等の確保に対する補助</p>			貸与対象者	専門研修医、臨床研修医、大学院生、大学生	貸与額	月額15万円 (産婦人科、小児科等の特定診療科は月額5万円加算)	貸与枠	47名
	貸与対象者	専門研修医、臨床研修医、大学院生、大学生							
貸与額	月額15万円 (産婦人科、小児科等の特定診療科は月額5万円加算)								
貸与枠	47名								
担当課・係名	京都府立医科大学 管理課 健康福祉部医療課 地域医療担当 " 府立病院担当	課・係直通電話番号	075-251-5211 075-414-4744 075-414-4750						

平成22年度当初 予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	救急勤務医・産科医等確保支援事業費																						
予算額	249,063千円	新規・継続の別	新規																				
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 地域の救急及び産科医療を確保するため、救急勤務医、産科医等に対する支援を実施するなど、地域医療体制の充実を図る。</p> <p>2 概 要 医師等への手当を支給する医療機関等（府立病院を含む）に対して、支給額のうち2/3を補助（国1/3、府1/3）</p> <table border="1" data-bbox="403 1137 1422 1854"> <tr> <td data-bbox="403 1137 884 1200">救急勤務医手当</td> <td data-bbox="884 1137 1422 1200"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1200 1422 1263">【対象者】救急医療に従事する医師</td> <td data-bbox="884 1200 1422 1263"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1263 1422 1326">▶ 休日昼間 13,570円（医師一人・救急勤務一回につき）</td> <td data-bbox="884 1263 1422 1326"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1326 1422 1388">▶ 夜 間 18,659円（ 同 上 ）</td> <td data-bbox="884 1326 1422 1388"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1388 884 1451">分娩取扱手当</td> <td data-bbox="884 1388 1422 1451"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1451 1422 1514">【対象者】産科・産婦人科医師及び助産師</td> <td data-bbox="884 1451 1422 1514"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1514 1422 1576">▶ 取扱1件 10,000円</td> <td data-bbox="884 1514 1422 1576"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1576 884 1639">産科後期研修医手当</td> <td data-bbox="884 1576 1422 1639"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1639 1422 1702">【対象者】後期研修医で産科・産婦人科を選択する者</td> <td data-bbox="884 1639 1422 1702"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1702 1422 1765">▶ 月 額 50,000円</td> <td data-bbox="884 1702 1422 1765"></td> </tr> </table>			救急勤務医手当		【対象者】救急医療に従事する医師		▶ 休日昼間 13,570円（医師一人・救急勤務一回につき）		▶ 夜 間 18,659円（ 同 上 ）		分娩取扱手当		【対象者】産科・産婦人科医師及び助産師		▶ 取扱1件 10,000円		産科後期研修医手当		【対象者】後期研修医で産科・産婦人科を選択する者		▶ 月 額 50,000円	
救急勤務医手当																							
【対象者】救急医療に従事する医師																							
▶ 休日昼間 13,570円（医師一人・救急勤務一回につき）																							
▶ 夜 間 18,659円（ 同 上 ）																							
分娩取扱手当																							
【対象者】産科・産婦人科医師及び助産師																							
▶ 取扱1件 10,000円																							
産科後期研修医手当																							
【対象者】後期研修医で産科・産婦人科を選択する者																							
▶ 月 額 50,000円																							
担当課・係名	医療課 地域医療担当	課・係 電話番号	075-414-4744																				

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	看護職確保定着対策事業費		
予算額	71,885千円	新規・継続の別	継承
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>助産師課程の開設支援や新人看護職研修により看護職育成を強化し、職場定着・再就業支援のための研修を実施することにより、看護職の確保定着の促進を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 助産師養成施設等整備費補助事業 (39,644千円) 新規の助産師養成課程を開設するための施設整備を支援</p> <p>(2) 新人看護職員研修事業 (25,514千円)</p> <p>① 小規模施設の新人看護職員に対して集合研修を実施</p> <p>② 施設におけるOJT研修を支援</p> <p>③ 新人教育指導者のための研修を実施</p> <p>(3) 看護職確保総合対策事業 (3,727千円)</p> <p>① 看護学生や未就業看護職員等を対象にした就業フェアを開催</p> <p>② 中堅看護師、看護師長を対象とした働き続けるためのワーク・ライフ・バランス研修を実施</p> <p>(4) 潜在助産師等再就業支援事業 (3,000千円) 未就業の助産師及び助産師免許を持つ看護師に対して、最新の助産に関する知識・技術の研修を実施</p>		
担当課・係名	医療課 医務・看護担当	課・係直通電話番号	075-414-4746

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	在宅医療連携体制整備推進事業費		
予算額	19,160千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨		
	高齢化の進展等に伴い、今後需要の増大が見込まれる在宅医療について地域における体制づくりを推進		
	2 事業内容		
	(1) 地域における在宅医療の強化 <9,160千円>		
	ア 地域医療連携推進協議会開催費		
	参加団体	各保健所、地域の医療関係機関	
	事業目的	地域における医療連携体制の構築	
	協議内容例	医療機関の情報共有による切れ目のないサービス提供の実施	
	イ 在宅医療サポート事業費		
	事業主体	京都府（京都府医師会に委託）	
事業目的	在宅医療を担う開業医等の確保		
事業内容	地域におけるチーム医療（複数の医師による医療提供）の導入などを推進するための研修会や事例検討会		
(2) 訪問看護ステーション支援事業費 <10,000千円>			
補助対象	新設又は既設の訪問看護ステーション		
事業内容	・新規に開設する訪問看護ステーションの初度備品整備に対して助成 ・既設の訪問看護ステーションが看護師を増員した場合に自動車購入助成		
担当課・係名	医療課 医務・看護担当	課・係直通電話番号	075-414-4749

平成 22 年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	ドクターヘリ共同運航事業費		
予算額	44,500千円	新規・継続の別	新規
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 救急医療体制の整備・充実のため、京都府、兵庫県及び鳥取県の3府県によるドクターヘリの共同運航を開始</p> <p>2 事業内容 基地病院に救急専用ヘリコプターを常置 消防機関等からの通報を受け、救急専門医等が同乗し、救急現場から必要な処置を行い搬送等 運航範囲は、京都府北部、兵庫県北部及び鳥取県東部を中心</p> <p>【基地病院】 ○ 公立豊岡病院組合立 豊岡病院（兵庫県豊岡市） 3府県の中心に位置する救命救急センターで、着陸施設を有する上記病院を基地病院に選定</p> <p>【受入病院】 ○ 公立豊岡病院や府立与謝の海病院など地域の中核病院</p> <p>【運航管理】 ○ 運航及び管理業務は、民間事業者へ委託</p> <p>3 運航開始時期 平成22年4月（予定）</p>		
担当課・係名	医療課 地域医療担当	課・係直通電話番号	075-414-4744

平成 2 2 年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	医療施設耐震化推進事業費		
予算額	302,923千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 地震災害等の発生時において、重篤な患者の集中が想定される災害拠点病院や救命救急センター等の耐震化整備を推進</p> <p>2 事業内容 医療施設耐震化特例基金を活用し、府内の医療施設のうち未耐震の病院が実施する耐震化のための新築建替、改築及び耐震補強工事に要する経費に助成</p> <p>3 補助対象 京都府指定の災害拠点病院、救命救急センター（3次救急病院）、2次救急病院のうち未耐震の病院 10箇所</p>		
担当課・係名	医療課 地域医療担当	課・係直通電話番号	075-414-4744

平成 2 2 年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	京都府医師会館整備費補助金										
予算額	150,000千円	新規・継続の別	継続								
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣旨 社団法人京都府医師会が行う、医師等教育・研修施設及び医療情報提供施設の整備に対し助成することにより、より安心・安全で質の高い医療の提供を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業主体</td> <td>社団法人京都府医師会</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>京都府医師会館の新築整備費用に対する補助</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>京都市中京区西ノ京拇尾町2番地15 (JR二条駅南側)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>平成21年度～平成22年度</td> </tr> </table>			事業主体	社団法人京都府医師会	事業内容	京都府医師会館の新築整備費用に対する補助	設置場所	京都市中京区西ノ京拇尾町2番地15 (JR二条駅南側)	工期	平成21年度～平成22年度
事業主体	社団法人京都府医師会										
事業内容	京都府医師会館の新築整備費用に対する補助										
設置場所	京都市中京区西ノ京拇尾町2番地15 (JR二条駅南側)										
工期	平成21年度～平成22年度										
担当課・係名	医療課 医務・看護担当	課・係直通電話番号	075-414-4746								

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部
農林水産部

事業名	きょうと「食の安心・安全」確保事業費		
予算額	30,406千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣旨 多発する食品偽装や残留農薬等、府民の食への不安が高まる中、関係部局が連携し、食品表示の適正化、食品衛生監視指導等を強化することにより、府民の食への信頼の回復を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ 食品表示パトロール（継続：2,000千円） 産地偽装など食品表示に関する事件が多発する中、関係職員（農林水産・健康福祉・府民生活）が合同巡回調査を実施することにより、違反事実に対率的かつ迅速に対応し、食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 食品衛生監視指導（継続：13,986千円） 食品衛生推進員「京の食”安全見はり番”」等による自主衛生管理の推進、食品衛生監視機動班による事業者への監視・指導の実施や食品等の残留農薬、添加物等の検査体制を充実し、食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 食品検査（継続：4,669千円） 府内に流通している食品等の検査を行い、その結果を定期的に公表することにより食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 遺伝子組換え食品検査（継続：4,956千円） DNA検査機器により遺伝子組換え食品の分析を実施し、表示内容の検査を行うことにより、食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 拠点保健所業務管理基準（GLP）導入（継続：4,795千円） GLP（業務管理基準）の導入により、精度管理体制の構築、検証体制の整備を図り、検査の信頼性を確保する。</p>		
担当課・係名	健康福祉部生活衛生課食品衛生担当 農林水産部食の安心・安全推進課食の安全担当	電話番号	075-414-4773 075-414-5654

平成22年度 当初予算案主要事項説明

文化環境部・健康福祉部

事業名	京都式高校生あんしん修学支援制度		
予算額	1,251,014 千円	新規・継続の別	新規
事業内容	<p>1 目的 家庭の経済状況にかかわらず、修学の意志のある私立高校生が安心して勉学に打ち込めるよう、修学費用（授業料・学用品費）負担の解消・軽減を行い、経済的理由により学業の継続が困難となることがないように支援し、高校生の修学機会を確保する。</p>		
目的	<p>2 私立高等学校あんしん修学支援事業費 <u>984,864千円</u></p> <p>(1) 低所得者世帯の生徒の授業料無償化制度の創設</p> <p>▶ 生保・リストラ世帯 → 全額無償化</p> <p>▶ 年収350万円未満世帯 → 府内平均授業料(64万円)まで実質無償化</p>		
対象	<p>▶ 府単独助成で学校による全額減免を支援</p> <p>〔 ・生保、リストラ世帯 356,400～118,800円 ・年収350万円未満世帯(上記除く) 178,200円 〕</p>		
方法等	<p>(2) 学費軽減制度の創設（公私間格差是正）</p> <p>▶ 年収350～1,200万円世帯 → 保護者の学費負担を軽減</p> <p>・対象世帯に50,000円を助成</p>		
	<p>3 高校生給付型奨学金支給事業費 <u>266,150千円</u></p> <p>低所得者世帯の子の高等学校進学を促進するため、新たに学用品費の助成を目的とした制度を創設</p> <p>・対象者 市町村民税非課税世帯で母子、父子、障害者世帯等の子</p> <p>・助成金額 入学支度金 … 45千円～178千円 奨学金 … 年額6万円</p>		
担当課名	文教課 福祉・援護課	課・担当電話番号	075-414-4517 075-414-4557